

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
移動平均法による原価法を採用しております。
- (2) 固定資産の減価償却方法
①有形固定資産
旧定率法及び定率法を採用しております。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式を採用しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	99,908,000			99,908,000
定期預金	92,000			92,000
小 計	100,000,000			100,000,000
特定資産				
普通預金	6,575,200	634,784	1,065,939	6,144,045
普通預金	1,506,028	117	1,506,145	
小 計	8,081,228	634,901	2,572,084	6,144,045
合 計	108,081,228	634,901	2,572,084	106,144,045

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	99,908,000	()	(99,908,000)	()
定期預金	92,000	()	(92,000)	()
小 計	100,000,000	()	(100,000,000)	()
特定資産				
普通預金	6,144,045	()	(6,144,045)	()
普通預金		()	()	()
小 計	6,144,045	()	(6,144,045)	()
合 計	106,144,045	()	(106,144,045)	()

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,368,560	-1,787,098	1,581,462
合 計	3,368,560	-1,787,098	1,581,462

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
投資有価証券	99,908,000	79,700,000	-20,208,000
投資有価証券	18,163,980	14,408,856	-3,755,124
合 計	118,071,980	94,108,856	-23,963,124

6. その他